

平成 28 年度 佐渡市外国語活動部 活動報告

部長 伊藤 圭亮

1 研究主題

児童の「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を育成するための授業展開はどうあればよいか、実践的な研修の場を設け、日ごろの指導力の向上を図る。

2 研究の概要

上記主題のために、各参加者が実践を持ち寄り、実践紹介や実技研修を行った。

3 研究の実際

- 研修名 実践紹介・実技研修
- 期日 平成 28 年 6 月 15 日（水）
- 会場 佐渡市立畑野小学校

本研修では、一人 10 分程度の時間を設け、実践紹介や実技研修に児童役に分かれて実際に活動を行ったり、日ごろの授業で心掛けていることを話してもらったりした。実技研修では、様々な活動が紹介された。

- ・ホットポテトゲーム
- ・What time is it now?ゲーム
- ・ミッシングゲーム
- ・外国の地図を使ったアルファベット探し
- ・Hi! Friends. の有効な活用方法

実技研修後には、畑野小学校にある豊富な外国語の教材を見せていただいた。絵本、紙芝居、CD、DVD 等、多くの資料を見ることで、参加者は、外国語活動を実践することに対する意欲を高め、有意義な研修会となった。



4 成果

実践紹介後、質疑応答の時間を設け、実践する上での留意点を述べたり、さらに充実した活動になるための工夫を出し合ったりした。

- 研修の参加者から、「このアクティビティは他の言語事項の指導や語彙の指導にも生かせる」という意見が出され、今後の外国語活動を計画する際の参考になった。
- 今年度 5, 6 学年を担当していない参加者からは、「授業の実際を体験できたことは、とても良い経験になった。」という意見が出された。
- ゲームやアクティビティだけではなく、Hi! Friends. の有効な活用方法についても紹介があった。今後、外国語活動に自信がなくても、教科書を有効活用し、授業実践しようと思えるような有意義な研修になった。

5 課題

外国語活動の教科化にともない、学級担任が外国語活動を行うことが増えてくる。そのため、日々の授業をどのように展開していくのか、さらなる検討が必要である。また、それぞれの学校では、外国語活動に苦手意識を感じている教員が少なくないと思われる。外国語担当教員が働きかけて、実践を紹介する校内研修を実施するなどして、教員の英語力、授業力を向上していく必要がある。